

平成11年度総会・第18回静岡コロキウム顛末記

本年度の総会は、平成11年5月18日(火)に静岡市の「ル・ヴェールたちばな」で開催されました。今年度は、午後1時から総会を開催し、続いて第18回静岡コロキウムに移行するという方式を探りました。

鈴木孝典会長(巴川製紙所)の、アップ・トゥ・デイトな話題と深い問題提起に満ちた御挨拶の後、平成10年度事業の報告及び決算の承認を行いました。景気が低迷する中、特に法人会員数が減少傾向にあり、収入の多くを静岡フォーラムの参加費などに頼っている不安定な懇話会財政構造の現状が、会計担当幹事から紹介されました。この状況を踏まえて、本年度の事業計画と予算案を審議しました。その結果、静岡コロキウムでは参加費無料は維持し、その代わり資料は希望者に頒布するという形で資料代をいただくこともありうることを承認しました。また懇話会用のパソコンを更新するため、備品費を一部取りくずすことも認められました。

事業計画としては、昨年度と同様、静岡コロキウムは2件、静岡フォーラムおよび企業技術交流会は従来通り1件ずつを、それぞれ主催行事として開催することになりました。これに合わせて、本年度の予算案が承認されました。共催行事は、主に化学工学会東海支部主催の講座・セミナー・講習会等で依頼のあったものを中心に考えることとしました。

引き続いて、今後の懇話会のあり方について活発な意見交換が行われました。会費の自動引き落とし方式の導入など、数多くの建設的な提言が寄せられ、実り多い総会とすることことができました。総会参加者の方々に感謝申し上げます。

午後2時からは会場を移して第18回静岡コロキウムを開催しました。今回のテーマは「いま、定着しつつあるISO14000と環境管理・監査制度を考える」というホットなものでした。最初に、行政の側からの総論的解説として、静岡県環境部環境政策課主幹の朝比奈均氏から「ISOの仕組みと普及の目的」と題する御講演をいただきました。現在の環境問題の特徴整理から始まり、環境マネジメントシステムの必要性、ISO14000シリーズの概要、審査登録の仕組みなどについて概説された後、静岡県の取り組み状況を御紹介いただきました。各種の支援制度や導入促進事業など、参加者の関心を大いに集めました。静岡県でのISO14001認証企業は99年3月末現在で106社にのぼり、全国第4位だそうです。1位神奈川(180社)、2位東京(172社)、3位愛知(140社)に続くものであり、人口や企業数当たりで比較すれば、全国最上位にランクされることのはば間違いないと思われます。これは官民あわせての熱心な取り組みの賜物と思われ、朝比奈氏の熱い口調の御講演は、その裏付けでもありました。

続いて、ISO14001認証の取得例の紹介が2件。まず公的機関での事例として、静岡県環境衛生科学研究所・副所長の永野隆夫氏による、「環境衛生科学研究所におけるISO14001認証取得への取組み」と題する御講演がありました。私企業ではない研究所が敢えてISO14001認証取得に取り組んだ目的として、1) 静岡県の公的機関として率先して環境負荷の低減を図り、県内企業の模範となる。2) ISO14001認証取得に伴って得られる情報・技術を活用して、中小企業に対してISO14001認証取得を支援する。3) 業務の見直し及び改善を行うことにより、省資源化やコスト削減を目指し、環境負荷の低減を図る。4) ISO14001認証取得に伴う施設・設備の整備、緊急事態に対する意識の向上を図る。の4点が挙げられ、参加者はうなづくこと頻りでした。化学薬品を扱うことが

多いため、薬品管理体制を徹底的に見直したそうで、認証機関も薬品管理の徹底ぶりを評価してくれたお話しなど、大変参考になりました。きわめて興味深い御講演でしたので、講演後の質疑応答も活発で、時間が足りないほどでした。

続いて、民間企業の側から「ISO14001認証取得事例」と題して、サンコー分析センター(株)常務取締役の松本恒夫氏による御講演をいただきました。資本金1000万円、従業員数23名の企業がISO14001認証取得に取り組むには、相当の動機づけが必要だったとのお話から始まり、その理由を次の3点にまとめられました。1) 環境管理システム構築ノウハウの習得がビジネスチャンスを拡大する：自ら体験しないと本当のところは理解できない、提案型の営業活動に結びつけたい、顧客からの相談に対して適切な対応が可能、2) 認証取得は避けられないから、社会的要請を先取りする方がよい：業務自体が環境と密接に関わっている、顧客の認証取得の動きが活発化するだろう、どうせやるなら早い方がよい、3) その他：社会的なイメージアップを期待、環境リスクの未然防止、社内的な業務見直しが図れる、などが挙げられました。認証取得を積極的にビジネスチャンスの拡大に結びつけようという姿勢には、大いに感銘を受けました。続いて、認証取得までのステップを、実際の日時やかかった経費まで詳細に御紹介下さい、極めてリアリティックな御報告に、会場はすっかり圧倒されました。実際にどんな点に苦労されたかなどのお話は、他では聞けない貴重な情報であったと思います。

総じて、ISO14001認証取得には、それ相応の苦労や経費もかかるけれども、取るまでの過程や取得後の直接・間接的な種々の効果を考えると取り組むに値する、との印象を強く受けました。

興味深いお話しの連続で、時間の経つのがあっという間の充実した1日でした。なお、総会・コロキウムへの参加者は30数名にのぼり、盛会でした。

参加して下さった皆様、講演して下さった講師の方々、また総会会場のお世話をして下さいました静岡県静岡工業技術センターの松本豊氏に厚く御礼申し上げます。

(静岡大学工学部 松田 智記)



